

のき 会 議 う ご

上島町議会

平成25年 第1回定例会

本定例会は3月8日に招集され、会期を16日間と定めました。19日で審議等を終え閉会しました。なお、行政報告及び各議案の主な内容、議決結果は次のとおりです。

上村町長の行政報告

桜の便りと共に、新たな旅立ちと出会い、夢と熱意が満ち溢れる時候になってまいりました。本日は、平成25年上島町議会第1回定例会を招集いたしましたところ、全員の出席をいただきまして誠にありがとうございます。

それでは、12月定例会後の主な活動状況や行政運営の現状・今後の予算や政策の方向性について報告致します。

12月27日、「上島町消防本部自転車隊」を結成いたしました。これは、国内初の本格的な装備を備えた自転車隊であり、東日本大震災において、車両移動が困難な事例が各地で起こったことを教訓に、地震をはじめとする災害時等において、自転車特有の機動性を活かし、積極的に災害情報の収集活動等を行う事を目的にしています。今後は、プロによる指導や技術向上の為の訓練を重ね、町民の皆様の安全・安心を確保する活動の一翼を担うこととなります。

上島町の災害対応として他にも、万一の災害に備えて各地区に食料や毛布等の備蓄品を毎年予算措置して配備・更新しております。今後も引き続き



上島町消防本部自転車隊

き「災害に強く安心して暮らせるまちづくり」に向けて、十分な整備を実施してまいります。なお、備蓄品配備施設の詳細については「広報かみじま3月号」に掲載していますのでご覧ください。

年が明けて1月3日、平成25年の上島町成人式が行われ、新成人の新たな門出をお祝いしました。当日は、上島各地区から47名が式典に参加、元気で明るい若者も多くいて、爽やかな成人式でした。私の挨拶の中で「この式典は成人の日があるから開催しているのではありません。20年間一生懸命頑張って、このように立派に成長した皆さんを心からお祝いしたいから、上島町はこの式典を開催しています。今後も皆さんは、その足元を、歩む道を照らし続けてくれたご両親やご家族の方々がいるということ、どうぞ忘れないでください。」とのメッセージを送りました。将来、この若者達が人として更に成長され、ふるさと上島の支えになってくれることを期待しています。



平成25年上島町成人式

1月15日から17日にかけて上京し、「岩城橋」の早期実現、離島振興法改正に係る予算枠の確保等、上島町の重点要望を新政権発足後の関係各庁や愛媛県選出の全国会議員へ陳情活動を行いました。お忙しい中にも関わらず、ほとんどの先生が面会の時間を取っていただいたばかりか、山本順三先生は、国土交通省事務次官をはじめとする審議官や担当局長等に直接お会いする約束を取って下さった上に、共に足を運んでいただき、村上先生は委員会室で要望内容を精査し直接担当部に電話をかけて下さいました。特に「岩城橋」の実現については、どの先生からも「責任を持って対応する。」「予算確保に努める。」「旨の御返事をいただき、心強く感じました。」旨の御返事をいただきました。

2月14日に公表された愛媛県の平成25年度当初予算案には、岩城橋建設事業に3億450万円が盛り込まれており、今後は詳細設計や取り付け道路の測量設計が実施され、平成27年度からの本体

工事開始を目指しています。上島町民の夢がまた一步「坂の上の雲」に近づいた事、政治や行政運営において最も大切な、小さな地域への細かい御配慮に対し、中村愛媛県知事をはじめとする関係者の皆様方に心からの敬意を表したいと思ひます。

1月20日、恒例の上島町駅伝大会が開催され、県内外81チーム約490人に参加していただきました。小学生男子の部では生名小Aチーム、小学生女子の部では岩城小Aチーム、高校生の部では弓削商船高専陸上部Aチームがそれぞれ優勝したように、地元チームの活躍は大変喜ばしいことでした。また、ボランティアで運営に携わっていただいた愛媛県警・白バイ隊や体育協会をはじめとする関係者の方々、沿道から温かい声援を送り続けてくれた皆様方に、あらためて御礼を申し上げます。伝統あるこの駅伝大会の更なる発展と、近い将来、岩城橋が完成し、3橋を渡る「かみじま海道大駅伝大会」が開催できますことを夢見ています。

1月27日、上島町消防出初式が挙行され、「自らの地域は自ら守る」の精神を胸に秘めた消防団員・消防職員及び防災士が一堂に会し、日頃の訓練の成果を披露していただきました。近年は、予防消防の効果により火災件数も少なくなっておりましたが、諸外国からの脅威への対応も必要となつてきています。上島町では、消防団員の定数を満たしていない地域もありますので、関係者の皆様の更なるお力添えをお願いいたします。

1月28日には、四国地方整備局での「四国地方公共工品質確保推進協議会」と「四国防災トックセミナー」に出席しました。「四国地方公共工品質確保推進協議会」での内容は、公共工事に



平成25年上島町消防出初式



第56回 上島町駅伝大会

おける品質を確保する方法として総合評価落札方式が有効であるということであり、今後上島町も入札の手段として積極的に取り入れる事を担当課に指示しております。また、「四国防災トップセミナー」での上島町が対応すべき事案についても、毎年、全職員にレポートしております。

2月1日、第1回の「上島町交通体系検討協議会」を開催しました。この協議会の目的は、上島町の需要に応じた交通体系の構築及び確保その他利便の増進を図り、地域の実情に適した交通体系の実現に向けて必要な事項を検討するものです。委員は、町議会代表・地区代表・公募委員・航路業者代表・学識経験者（愛媛県職員）・町職員、合計22名で構成されております。今後は平成25年度末まで月1回程度開催し、協議が整った事項から順次町に提言していただくこととなりました。様々な見地からのお考えもあり、全員が納得する案というのとはなかなか難しいとは思いますが、交通弱者への対応や需要と供給、収入と経費などを視野に、総合的に利便性が向上する御提言を期待しております。



上島町交通体系検討協議会



四国防災トップセミナー

次に、行財政運営に関しての報告を行います。昨年は「選択の年」であったとも言えるように、国においては3年3ヶ月ぶりに政権与党が交代しました。今回の政府は重厚でありますし、専門的な知識も兼ね備えているというところで、私は大いなる期待を寄せているところです。

町職員には年始の挨拶の中で、「新たな政府は、防災や国土強靱化計画を含め、公共工事等の見直

しを行い、諸施策の再検討に入りますので、それに十分間に合うよう対応してほしい。」と即時対応の指示をしております。

1月15日、新政府は早速13兆円規模の大型補正予算を閣議決定、「アベノミクス」とも呼ばれる日本経済再生に向けた緊急経済対策のスタートを切りました。

今回、上島町にとって特に影響が大きいのは、地域経済活性化・雇用創出臨時交付金、いわゆる「地域の元氣臨時交付金」の創出です。これは、国庫補助事業の地方負担に対して、迅速かつ円滑な実施ができるよう、補正予算債による対応に加え、今回限りの特別措置として交付金が配分されるものです。上島町は、この制度を最大限に活用するため、愛媛県の補正予算に計上された魚礁設置事業や生名と岩城の体育館耐震化事業を、平成25年度当初予算から前倒しで第6号補正予算として、3月議会再開時に計上いたします。なお、元氣臨時交付金の交付総額が確定しておりませんので、3月補正予算に充当した残余については、平成25年度当初予算の町単独事業に充当する予定です。

政府は1月29日、一般会計総額前年度比2.5%増、92兆6115億円の平成25年度当初予算案を閣議決定しました。地方財政に直結する地方交付税は、出口ベースで17兆624億円と、前年度よりも3921億円少なくなっており、交付税が出口ベースで前年度を下回るのは6年ぶりです。

その主な要因は、地方公務員給与を7月から国と同様に平均7.8%削減するとの前提に基づいて、財源となる交付税を減らしたことです。

上島町は合併以来、様々な経費はもちろん、上島町集中改革プランの目標値である7%を大きく上回る14%の削減率となる37名の職員を削減するなど、他に先駆けて行財政改革に努めてまいりました。上島町の国家公務員との給与比較であるラスパイレース指数（国家公務員の給与を100とした場合）も国家公務員の給与削減前は85・5、削減後であっても92・5であり、愛媛県内20市町の平均ラスパイレース指数103・2を大きく下回

っており、愛媛県下で一番給与水準が低い町です。国は今後、人件費や職員数といった行革実績に応じて「地域の元氣づくり事業」の費用として地方に加算配分することと、上島町は総額で町民サービスに迷惑をかける減額にもならず、自主的に身を削ってきた自治体にも、国と同様に給与の削減を迫る理論は、到底受け入れられません。次に、平成25年度上島町当初予算について、私の選挙公約に係わる『新たな事業』の予算措置状況を中心に報告します。

まず、『お年寄りが安心して暮らせる制度の充実』ですが、新規モデル事業として「高齢者入院・退院支援員派遣事業」を試行することとしました。これは、町内・近隣に家族がいない等の独居の高齢者に支援員を派遣して、入退院時や入院中の必要最低限の支援を行うもので、経費として25万円を計上しています。

また、「サービス付き高齢者向け住宅」や「通所介護事業所」など、お年寄り等の介護施設や環境整備を計画している民間活力を支援するために、できる限りの対応を提案し実施して参ります。

さらに、健康長寿の町「上島町」には元氣なお年寄りがたくさんいらつしゃいます。この方々の知識や経験をフルに活かすために、「シルバー人材活用事業」を立ち上げます。その準備経費として専門の講師招聘報償費等19万円を計上しています。

『救急・医療施設の充実』では、「消防救急デジタル無線（活動波部分）」を整備いたします。これは、12月補正に計上した国庫補助事業対象の共通波部分に続いて実施するものです。活動波は町単独事業となりますが、財源として元利償還金の8割が地方交付税として算入される辺地対策事業債を充当する予定で、事業費は1億4千3百万円です。

さらに、救急艇で接近できない海岸付近での水難事故に対する救助活動や高潮・台風時の浸水被害に対する住民避難活動用に、エンジン付きのゴムボートを新規に整備するための費用として155万円を計上しています。

次に『福祉政策の充実』は、身体障害者等に対する事業として、自動車運転免許取得費・自動車改造費助成事業を40万円、18歳未満の軽度・中等度の難聴児に対しての補聴器購入等助成金を31万円計上しています。

さらに、発達障害者支援事業として、弓削保健センター内に総合窓口を設置し、障害の早期発見・療育・教育・就労等の相談体制を一本化します。経費としては140万円を計上しております。

『子育て支援策の拡大』では、従来の1歳6ヶ月児、3歳児に加え、新たに5歳児に対する健診事業を実施、よりきめ細かな子育て支援を行います。経費は24万円です。

次に『観光振興』では、上島サイクルツアーの開催に207万円、松原海水浴場・岩城西部海水浴場にトイレ及びシャワー室の整備費用として9811万円、上島町観光協会に対する支援として562万円、上島町ホームページのリニューアル事業として629万円をそれぞれ計上しました。

また、『スポーツの振興』においては、生名スポレク野球場を充実するための設計委託料546万円、更に老朽化した生名体育館及び岩城体育館の改修費用として併せて5722万円を計上しております。

さらに、『心豊かな文化の町づくり』の一環として、岩城地区において「かみじま音楽祭」を開催いたします。経費は、実行委員会に対する補助金として1350万円を組みました。

『古代遺産の保護』では、埋蔵文化調査事業を実施、佐島宮ノ浦等の発掘作業を行います。経費は327万円を計上しました。なお遺跡調査事業の充実を図るため、新年度から新たに日本考古学専門の学芸員を1名採用する予定です。

次に『自治活動や交流事業』の拠点として、魚島地区に「地域交流施設」を建設いたします。これは、平成24年度補正予算で一度計上しましたが、財源として予定していた辺地対策事業債の愛媛県枠が少なく、配分されなかったことから見送っていたものを再度計上したもので、費用は2億1214万円です。

『自治体間交流事業』としては、昨年度に引き続き、愛媛県市町振興課・愛媛県東京事務所・震災被災地である宮城県山元町に加え、新たに愛媛県後期高齢者医療広域連合及び瀬戸内しま博覧会事務局へ上島町職員を派遣いたします。

平成25年度予算には、他にも重要な施策を数多く組み込んでおりますが、選挙公約を反映した主な新規事業を述べさせていただきます。

『夢』とは叶えるものです。今後も『夢』を含めたこの公約に則り、ぶれることの無い政策運営を進めてまいりますので、町民の皆様の変わらぬ御理解とご支援をいただきますようしくお願い申し上げます。

結びに、私は新年の課長会のあいさつの中で、『君子は和して同ぜず、小人は同じて和せず』という論語の言葉を引用しました。これは、人格者というのとは和を保つため協調することはあるが、主体性を失わず、むやみに同調したりしない。つまらない人物は大きな声にたやすく同調するが、心から親しくなることはなく和を大切にしないという意味です。

上島町職員には、町長が示した方針や施策が、行政運営や将来のビジョン、法律や社会理念に照らして、何かしらの問題があると思うのなら、その意義や町民の皆様への貢献は何かを説明し、自己あるいは課の考えを持った上で、「町長それは違います。」と言っていたきたいと伝えております。現実には、そんな逞しい職員が上島町にはいます。

つまり、上島町の行政運営においては勇気を出して徹底的に意見・発言・協議し、その結果がどうであれ、その後は協調していくことが真の「和」、そして、町民の皆様への幸福につながる事になると考えています。

私は、相手を立てながら自分の意志を上手く表現したいいつも思っています。「和して同ぜず」とは、自分の立ち位置がはっきりしているかどうか、町政運営でいえば、町民の幸せを最優先に考えているのかどうかではないでしょうか。

各議案の主な内容 及び議決結果

条例議案

■上島町新型インフルエンザ等対策本部条例
新型インフルエンザ等対策特別措置法が公布されたことに伴い、新型インフルエンザ等対策本部について定める必要が生じたため。

— 原案可決 —

■上島町空き家等の適正管理に関する条例
町民等の生命、身体及び財産の保護並びに良好な生活環境の保全を図り、安全安心な町づくりを推進するため、管理不全な状態にある空き家等の適正な管理について、条例を制定する必要が生じたため。

— 原案可決 —

■上島町道の構造の技術的基準を定める条例
地域主権一括法により道路法の一部が改正されたことに伴い、上島町道の構造の技術的基準を定める必要が生じたため。

— 原案可決 —

■上島町道に設ける道路標識の寸法を定める条例
地域主権一括法により道路法の一部が改正されたことに伴い、上島町道に設ける道路標識の寸法を定める必要が生じたため。

— 原案可決 —

■上島町営住宅条例の一部を改正する条例
地域主権一括法による公営住宅法の改正に基づき、入居者の資格要件を緩和すること及び町営住宅の位置並びに名称を変更する必要が生じたため。

— 原案可決 —

■上島町個人情報保護条例の一部を改正する条例
国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する等の法律の公布に伴い、関係規定を整備する必要が生じたため。

— 原案可決 —

■上島町情報公開条例の一部を改正する条例

国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する等の法律の公布に伴い、関係規定を整備する必要があるため。

■上島町職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

上島町職員の特殊勤務手当の適正化を図るため、上島町の特種勤務に従事する職員を見直したことから、関係規定を整備する必要があるため。

■上島町駐車場条例の一部を改正する条例

岩城地区の「小村駐車場」の廃止及び「西下駐車場」の位置の変更に伴い、条例改正の必要が生じたため。

■上島町岩城コミュニティセンター条例の一部を改正する条例

岩城コミュニティセンター改修工事に伴い、施設の使用目的及び室名に変更が生じたため使用料の改正を行うとともに、減免規定を設ける必要が生じたため。

■上島町移動等円滑化のために必要な町道の構造に関する基準を定める条例

地域主権一括法により高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部が改正されたことに伴い、上島町移動等円滑化のために必要な町道の構造に関する基準を定める必要が生じたため。

補正予算議案

■平成24年度上島町一般会計・特別会計（11会計）
《全13議案》

■一般会計

【補正額】 ▲4億 990万円

【総額】 64億4780万円

■一般会計

【補正額】 2億6600万円

【総額】 67億1380万円

■特別会計

国民健康保険 ▲1680万円
国民健康保険診療所 補正額 12億1900万円
総額 160万円

後期高齢者医療 補正額 ▲1200万円
総額 1億3480万円

公共下水道 補正額 ▲1180万円
総額 4億9960万円

簡易水道 補正額 ▲50万円
総額 2880万円

農業集落排水 補正額 ▲520万円
総額 6360万円

介護保険 補正額 750万円
総額 940万円

介護サービス 補正額 内容変更のみ
総額 3660万円

生名船舶 補正額 内容変更のみ
総額 2億3700万円

魚島船舶 補正額 100万円
総額 1億3820万円

特別養護老人ホーム 補正額 1040万円
総額 3億50万円

その他議案

■上島町魚島観光センターの指定管理者の指定について

【施設の名称及び所在地】

上島町魚島観光センター

上島町魚島一番耕地1362番地1

【指定管理者】 上島町魚島一番耕地126番地 荖零九壺（いれぐい）

当初予算議案

■平成25年度上島町一般会計
【総額】 63億5000万円

否決

■平成25年度上島町一般会計
【総額】 62億9300万円

原案可決

■平成25年度特別会計（16会計）

原案可決

代表者 大西 弘範
【指定期間】

平成25年4月1日から平成28年3月31日

原案可決

■上島町過疎地域自立促進計画の変更について

上島町過疎地域自立促進計画について、過疎地域自立促進特別措置法（平成12年3月31日法律第15号）第6条の規定に基づき、変更する必要があるため。

原案可決

■辺地に係る総合整備計画の変更について

本町の総合整備計画について、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律（昭和37年法律第88号）第3条の規定に基づき、変更する必要があるため。

原案可決

■副町長の選任について

【住所】 上島町弓削沢津47番地

【氏名】 宮川 阪光

【生年月日】 昭和27年12月6日

同意

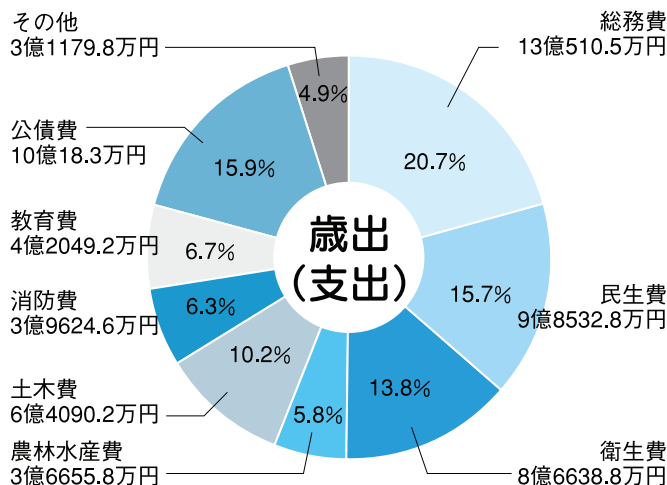
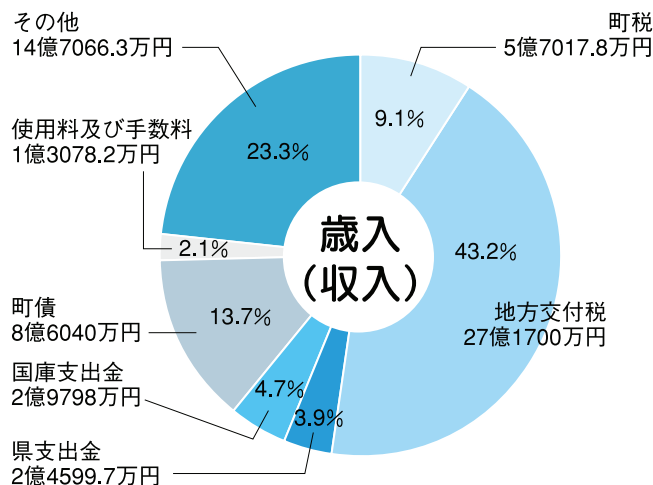
前記のとおり、平成25年上島町議会第1回定例会において、一般会計予算（町の主な収入・支出を総合的に管理する会計）と国民健康保険事業会計など16の特別会計予算（特定の事業を特定の資金で運用する会計）が可決成立しました。ここでは、特に町民の皆さんの生活に関連の深い一般会計の内訳等をお知らせします。

平成25年度予算総合計

100億1426万円（前年度 99億2258.9万円）

一般会計 62億9300万円

（前年度 61億600万円）



特別会計等37億2126万円（前年度 38億1658.9万円）

会 計	予 算 額	会 計	予 算 額	会 計	予 算 額
国民健康保険	11億9500万円	簡易水道	3250万円	生名船舶	2億3200万円
後期高齢者医療	1億3500万円	C A T V	1億6540万円	魚島船舶	1億3470万円
国保診療所	6500万円	農業集落排水	5500万円	特別養護老人ホーム	2億9930万円
へき地出張診療所	800万円	介護保険	7億600万円	上水道	2億2116万円
住宅新築資金等貸付	80万円	介護サービス	3680万円		
公共下水道	4億180万円	浄化槽	3280万円		

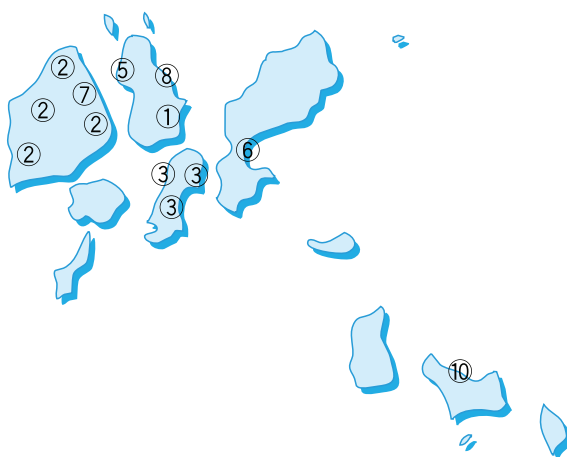
平成25年度 主要工事箇所

①生名地区社会資本整備総合交付金事業（稲浦幹線）
2000万円

②岩城地区社会資本整備総合交付金事業 1億314.9万円
白石・白石1号線、緊畑2号線、積善山整備事業、西部海水浴場整備事業

③弓削地区社会資本整備総合交付金事業（佐島循環線）
6700万円

④【漁港関係】
●津波・高潮危機管理対策緊急事業（弓削）2900万円
●水産物供給基盤機能保全事業（弓削）1600万円
●水産物供給基盤機能保全事業（岩城）8400万円
●水産物供給基盤機能保全事業（魚島）3600万円



⑤生名西浦地区がけ崩れ防災対策事業 766.5万円

⑥しまなみ海道観光施設等緊急整備支援事業（松原海水浴場シャワー棟整備）4246.2万円

⑦岩城体育館改修事業
2381.3万円

⑧生名体育館改修事業
3341.2万円

⑩魚島地域交流施設整備事業
2億600万円

⑪消防救急デジタル無線整備事業 1億4267.8万円

国庫補助事業

県補助事業

県営事業

町単独事業